



**令和7年度 校内研修主題**  
**主体的・対話的で深い学びができる生徒の育成**  
 ～自分事として課題解決に向かう指導の工夫を通して～

## 主な取り組み (2学期以降)

### 2学期

- 9月 指導案検討→計画訪問→共有会
- 10月 前期授業公開・参観→共有会
- 11月 「iPad、生成AI」研修
- 12月 後期授業公開・参観→共有会

### 3学期

- 1月 個人目標シートの振り返り→共有会
- 2・3月 1年間のまとめ・次年度に向けて

年度当初授業公開後に作成した「個人目標シート」に基づいた、**自分事として課題解決に向かう指導の工夫を意識した授業公開**を全職員が実施しました。

**音楽** 合唱コンクールのクラス合唱曲について、**自分の思いをもって多様な合唱表現を追究**している場面です。

**英語** より良い発表の視点を基に、**自分の発表を改善し、ペアで確認**している場面です。

**家庭科** **自分の部屋の環境を見直し、改善案**について話し合っている場面です。

**理科** 振り子の動きを観察して、**運動エネルギーと位置エネルギーの移り変わりについて自分の言葉で説明**している場面です。

全職員が**公開メモ・参観メモ**を作成し、お互いに授業を参観し合い、**教科の垣根を越えて、自身の教科指導**に活かしていききました。

授業公開後の共有会では、**自分事として課題解決に向かう指導の工夫についての成果と課題**について話し合い、**職員間で全体共有**を図っていききました。

【公開メモ】	
授業者	授業日①12月9日1校時(場所:2-1教室)2年1組 授業日②12月9日2校時(場所:2-2教室)2年2組
1 単元名「私たちの生活」	(8時間中の4時間目) 教科 家庭科
2 本時のねらい	健康で快適に住むための室内環境を自分の部屋と照らし合わせて理解する。
3 自分事として課題解決に向かわせる手立て	導入・(展開)・(結末) 授業開始後、15分後くらい ・チェックシートで自宅を点検させ、改善案を考えさせる。 ・「明日からすること」を宣言することにより、行動につなげる。
4 「深い学び」の表れた具体的な生徒の姿(例:～と記述している、発言している、表現している等。)	○「その工夫は自分の部屋でも使えそう」と、互いの学びを生活に持ち帰る姿(発言)が見られる。 ○「明日から〇〇する」と具体的に行動計画を立てている。 ○自分の部屋の振り返り内容を、壁内演練のポイントと関連付けて説明している。

【参観メモ】	
授業者( )	先生 ( )
参観者( )	( )
1 生徒の活動の中で見取れた事項(～と発言していた、～と記述していた、～等)	①改善案を具体的に書えられていた。 “毎週日曜日に…” “寝起きたときに…” など。
2 その他(感想等)	①家庭科は生活に直結する科目であることを改めて感じた。 自分の家の住環境についての学習は、イメージしやすいし、改善案を即行動に移すことができる。学習したことをすぐに活かすことができるのが良いと感じた。



## ～ 成果 (各教科における生徒の姿より抜粋) ～

- ・ **学習内容と実社会との関わりを実感**する姿や、**学んだことを将来に活かそうとする**姿が見られた。
- ・ 学習の途中段階で**試行錯誤したり自己調整したり**する様子が見られた。
- ・ **生徒同士で確認し合う**活動を通して、理解を深めようとする姿が見られた。
- ・ 日常生活の製品に対しても**自ら関心を持ち、技術の工夫に目を向ける**生徒が増えた。
- ・ 「次回はここを意識する」と**自身の動きを振り返り、改善しようとする**姿が見られた。

## ～ 今後に向けて ～

- ・ 自分(集団)を**より良くしようとする**ために、自分(集団)の**課題を見つけ、自分(集団)に合った学び方**ができるようにしていく。
- ・ **個に応じた指導と、学びに向かう集団づくり**を両立させていく。